

国民運動 その④

「木づかい運動」の推進

森林整備にもつながら 国産材の普及運動

日本の木材自給率は、平成一七年に20%を達成し、好転しつつあります(図5)。森林資源が充実する今、国産材の利用拡大が期待されています。

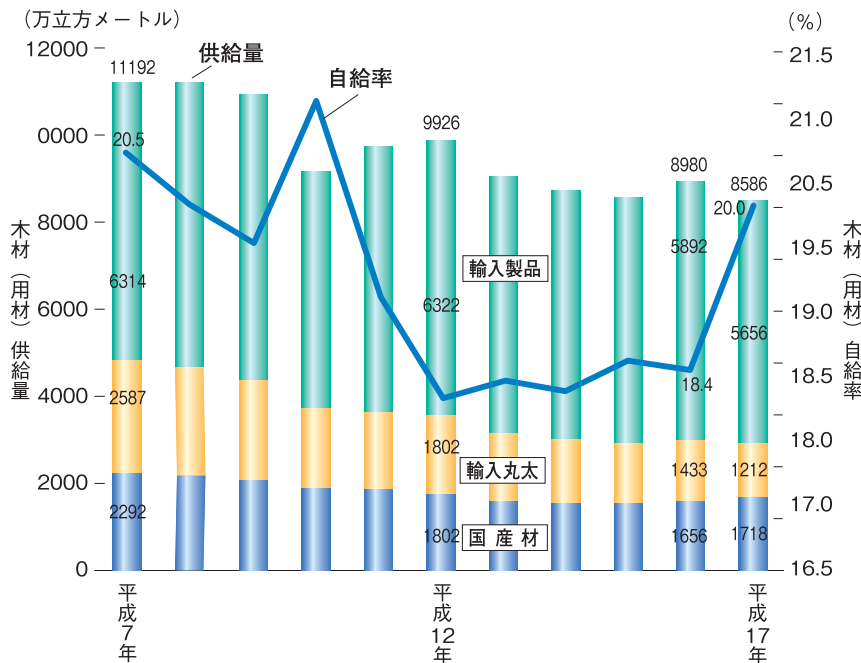
木材が使われなければ、木は伐れません。このため、国産材の利用を推進する運動『木づかい運動』の取り組みが進められています。『木づかい運動』は、国産材利用の拡大を目指したPRや企業向けセミナーの開催などを行う活動です。これにより国産材の利用が増えれば、これらの産業に従事する人たちが多く住む山村が活性化し、結果的に森林の整備にもつながります。このよい循環を正常に機能させることが重要です。

また、企業に国産材を使ってもらうことを推進するために、財団法人日本木材総合情報センターがロゴマーク「3・9 GREEN STYLE」を制定しました。運動に賛同する企業は、国産材を使用して製作した商品などにマークが使用できるようになりました。

従来は銘木や大径材などをムク材や板などの住宅建材として使うイメージ

が強かった国産材ですが、今では加工技術も向上し、中・小径材を用いて、製材や集成材、合板など様々な製品をつくるが可能になり、用途も多様化しています。今後さらに国産材を積極的に活用し、そのことで流通を活性化させることが大切であることから、この運動の役割がきわめて重要になっています。

図5 日本の木材供給量と自給率(丸太換算)



資料：林野庁「木材需給表」



「3.9 GREEN STYLE」のロゴマーク



元プロ野球選手たちを登用したキャンペーンポスター



国民運動 その⑤

森林所有者への働きかけ

所有する森林の現状把握 と施業計画策定の促進

森林に手が入るようにするためには、まず森林所有者にやる気を持つてもらわなければなりません。特に間伐のようには十年に一度といった長いサイクルで行われる施業の場合、樹木の混み具合や成長の様子などの森林の現状を把握してもらいながら、適切な時期に適切な方法で、長期的な計画のもとに行う必要があります。

また、施業の実行に当たっては、それぞれの森林所有者が個々に施業を行うのではなく、周囲の森林とあわせて共同で作業路を設置するなど、集約化して行うことで能率も上がります。このようなやり方を進めていくために、平成一九年度から、森林施業の集約化に必要な森林の情報を収集する活動について、面積当たり一定の交付金で支援することとしています。これにより、森林所有者が、自らの所有する森林の現状を把握し、森林施業計画を立てることが促進され、手入れが進むことが期待されます。



国民運動 その⑥

農山村住民への働きかけ

里山の機能回復のために 隣接した森林の整備を

近年、集落にクマやサル、イノシシなどが出没するとの報道に接することが多くなりました。これらには多くの理由が考えられますが、里山の環境の変化が原因の一つと言われています。

里山とは、多くの場合、集落に隣接した森林のことを意味します。昔の里山は、薪を取りに行ったり、肥料の落ち葉を拾いに行ったりと、集落の人々によって利用され、それによつて整備されてきました。

しかし今は、それらの習慣がなくなり、里山が昔のような機能を果たしていません。また、集落と里山の間にあった緩衝帯がなくなり、野生動物たちが集落へ下りてくることが多くなったと言われています。

時代が変わり、里山を昔のような姿に戻すことは困難ですが、補助事業を活用して施業を行ったりボランティア団体と連携し、里山を整えていくことが「美しい森林づくり」の大きな課題の一つです。

美しい森林をつくるための新たな試みや活動例

森林ボランティア

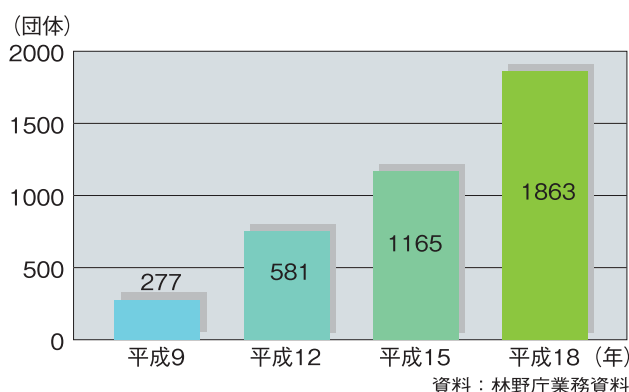
増加する森林ボランティア

年々、森林ボランティア団体の数は増えています(図6)。森林ボランティアでは、里山林など身近な森林の整備や保全、森林に関する普及啓発、地域づくり、山村と都市との交流をはじめ、森林に携わるさまざまな活動を行っています。平成九年には二七七団体だったのに対し、平成一八年には一八六三



下草刈りなども積極的に行う

図6 森林整備を行っているボランティア団体数(平成18年)



団体と約七倍近くに急増し、国民の森林への関心の高まりがうかがえます。そして、社会的責任活動の一環として、森林整備や植林、造林を行う民間企業も増加の傾向にあります。

森林ボランティアは、「美しい森林づくり推進国民運動」の要であり、国民や社会全体で森林を守り育てる意識を高める大切な役割も果たし、「国民参加の森林づくり」の一環を担っています。

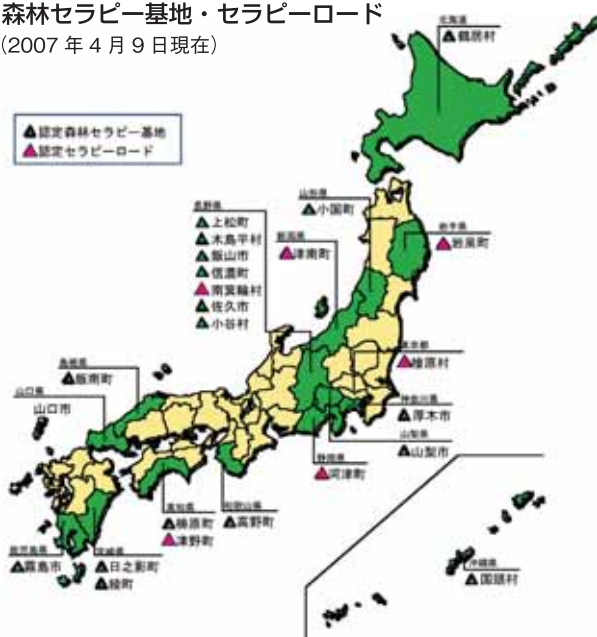
森林セラピー

森林の新しい活用法

最近、健康増進のための森林利用として、森林での健康プログラム「森林セラピー」が注目されています。

森林セラピーとは、森林浴による心と体への癒し効果を利用して、健康増進やリハビリテーションを行うことを指します。この効果が認められるのは、森林セラピー実行委員会によって、様々な生体実験を行い、科学的に高い癒し効果が認められた森林のみです。「森林セラピー基地」「森林セラピーロード」と呼ばれるその場所は平成19年4月現在、全国では24カ所が認定され、多くの人々が訪れています。目で緑を感じ、耳で風の音を感じ、鼻でおいしい空気を吸い込む。こうして五感を働かすことで、気持ちがリラックスするだけでなく、血圧や脈拍の安定、体

森林セラピー基地・セラピーロード
(2007年4月9日現在)



森林の中で穏やかな時間を楽しむことができる

の免疫力がアップするなどの医学的効果も証明されており、人々の心と体を癒してくれるのです。